

平成28年度第1回景観審議会デザイン協議部会 会議要旨

1. 審議会（部会）の日時、場所、出席者、議事

(1) 開催日時 平成28年（2016年）5月9日（月） 午後2時00分～同4時20分

(2) 開催場所 宝塚市立男女共同参画センター 学習交流室4

(3) 出席者

・景観審議会デザイン協議部会委員

徳尾野部会長、岩井委員、三谷委員、大平委員、盛田委員

・事務局（都市整備部 都市整備室 都市計画課）

山下室長、下野課長、谷口係長、志村係長、濱崎職員

・事業者

議事① 事業者 住友化学株式会社

設計者 プラナス株式会社

議事② 事業者 株式会社エース・コーポレーション

設計者 株式会社AR設計

(4) 議 事

議事① 健康・農業関連事業研究所 合成新棟建設工事

議事② （仮称）エクセレント花屋敷新築工事

(5) 傍聴者

なし

2. 会議の要旨

事務局：本日の審議会（部会）は、委員5名の出席がありましたので、宝塚市景観審議会規則第6条第2項の規定により成立する旨を報告します。

会 長：了解しました。審議を開始します。本日の署名委員は順番により、大平委員と盛田委員です。

会 長：景観審議会運営規程第3条第1項の規定に基づき、本日の議事は全て公開となっています。傍聴者があれば入室を承認しますが、傍聴者はいらっしゃいますか。

事務局：いらっしゃいません。

☆☆☆☆ 健康・農業関連事業研究所 合成新棟建設工事 ☆☆☆☆

会 長：今回の事業計画について説明を求めます。

事業者：事業計画について説明します。

- ・ 当研究所は、農薬や殺虫剤の研究を行っています。
- ・ 現況は、緑地面積が条例に適合していませんので、今回の計画で、ある一定の区域になりますが、できる限り緑化を進めるよう計画しています。
- ・ 現在の建物は全棟が白く、工場のイメージが強すぎます。本計画は「世界トップレベルの研究所」を目指してのプロジェクトで、工場に見えないような外観を意識し、アースカラー系を採用して親しみのある外観を計画しています。
- ・ 特に南面のファサードを特徴的なものとし、カーテンウォールを備えたダブルスキンとし、ブロンズガラス、クリアガラスを混ぜ、自然になじむよう配慮しました。
- ・ また、高い建物なので周囲からの見え方を意識し、その他の外壁面についてもランダムに窓を配置するなど、リズム感のあるファサードとし、単調な外壁とならないよう計画しています。
- ・ できるだけ近隣住民への影響がない配置を検討しました。

会 長：最初に確認したいのですが、この計画は工場全体の建て替えの始まりという位置づけになるのですか。今後、工場全体の建て替えを順次行う予定があれば、今回の建物は周囲からほとんど見えませんが、今後の計画の基準になると思います。景観上は建物単独ではなく、全体計画を見据えながら意見しなければならぬと考えています。

事業者：現在のところ、他の施設も老朽化していますので、順次建て替えが必要で、建て替えたいという意向はありますが、新棟以外の建て替え計画は未定です。

会 長：現在、計画として決まっているのは新棟のみという事で、委員から意見等をお願いしたいと思います。

会 長：敷地の設定ですが、構内道路を含んでいないことに何か理由がありますか。今後、敷地を分割して利用する予定等があるのですか。

事業者：そのような予定はありません。現実的には構内通路を除くと、工場内の動

線や道路からの進入路が確保できないので分割することはないと思います。

委員： 建て替える前の建物の階数は何階建てですか。

事業者： 1階建てでした。

委員： 不安の一つはカーテンウォールです。緩やかな凸面を描いていますので一点に光が集中するということはないと思いますが、計画地の南側に6階建ての共同住宅がありますので、ある時間帯になるとどうしても光が反射することになると思います。その点についてはどのようにお考えですか。

また、カーテンウォールにブロンズガラスとクリアガラスを組み合わせているのはクリエイティブとしては面白いですが、カーテンウォールの景観的な魅力は、周囲の景色が映り込む、映るという面白さがあると思います。このパッチワークになったカーテンウォールはどのようになるのかイメージができないのですが、設計者はどのようにイメージされているのか教えてください。

設計者： 反射光については設計段階で3DCADを使い光害について調べています。南側の住宅への影響は、太陽高度としてはかなり高い位置にありますので、光は下に落ちることになりますのであまり影響はないと考えています。一般的に光害で問題になるのは、横からの光がどこに反射するかということになると思います。こちらについても検討した結果、南側の住宅に影響を及ぼすのは明け方の時間帯ですので、この時間帯であればさほど問題がないと判断しています。また、ガラスについても、熱線反射ガラスは使用しないことにしています。

次に、ブロンズとクリアガラスを混ぜている件ですが、最初のイメージとして、住友化学さんは食料の増産を目指すことを企業目的として掲げられていますので、自然なイメージ、農業のイメージがあり、不均一なむらを取り入れることで、ガラス、の固いイメージが和らぎ、自然になじむのではないかと考えています。また、内部空間への光の入り方として、木漏れ日のようなイメージになるのではないかと考えています。

委員： 今までに採用された事例はありますか。

設計者： 弊社の事例としてはありませんが、このような効果を出せるようなデザイン方式を採用した建物はありますし、それを体感したことはあります。

委員： 建物の内側で木漏れ日のように見えるということは、屋内の人にとってはいい空間かもしれませんが、私たちは市民の皆さんがどう感じるかということを中心に考えなければなりません。周囲からどのように見えるのかが少しイメージしにくいです。

設計者： ブロンズとクリアのガラスの組み合わせは自然な風景になり、宝塚のイメージに合うのではないかと考えています。

委員： 設計意図はわかりました。ありがとうございます。

委員： この敷地は緑が少ないと言われていましたが、この計画は構内通路と計画建物の間に緑地がありませんので、東側の道路から隣地の駐車場を挟んでこの建物が直接見えてしまいます。このあたりはどのようにお考えですか。配置に余裕があるようにみえますので、東側にも緑化することができれば周囲からの見え方がもっとよくなると思います。

設計者： 東側の空地は他社の所有となっており、現在は駐車場として利用されていますが、将来的にどのように使われるかが想定できませんので、自己所有地の中でできる限り緑化するよう計画しています。

構内通路との間も緑化できないことはないのですが、免震構造の建物のため、地震の際には木をいじめてしまうこともあり、このような計画になっています。

委員： 工場全体の建て替えについて、マスタープランのようなものはないと言われたのですが、少し疑問に思います。この計画で南西側に開けた緑地を設け、南側をファサードとしていることは、どのような位置付けでの計画なのか。計画の意図に疑問があるのですが。

事業者： 計画地の南側にあるC棟は、合成の研究所として現在利用しています。今回の新棟完成後はC棟の機能がすべて新棟に移行し、C棟は将来解体したいと考えていますが、解体後の土地の利用形態は未定です。

委員： 詳細は未定とのことですが、工場全体の建て替え計画があるのであれば、この工場の景観上の一番の問題点は、敷地外周の高くて無機質な塀だと思います。昨今の工業団地では、外周に緑地帯をとって景観を意識した仕上げを

されています。今後引き続き改築のご計画があるのであれば、ぜひ塀の改善も考えて頂きたいと思います。

事業者： 防犯面と両立できれば考えたいと思います。弊社は生き物を扱っており、物理的攻撃を受ける可能性があります。警察からの指導も受けながら防犯面はかなり意識して管理を行っております。イメージとして皆さんが感じられていることは十分理解しておりますので、防犯面と両立できるようなものを今後考えていきたいと思います。

委員： お金はかかりますが、防犯面と景観を両立できるデザインは可能だと思いますので、是非前向きに検討をお願いします。

会長： 資料のパースに、東面の塀に壁面緑化が施されているように見えるのですが、これは今後このようにしていく予定ということなのでしょうか。

設計者： 敷地東側の塀は隣地が所有する塀です。現況で少し植物がありますが、計画地側に植えられたものではありません。

委員： 東側の土地の駐車場部分は所有が異なるとのことですが、東側道路から見えるのは事実なので、できれば東側にもトネリコ等の日照時間が短くても育つような中木を植えられるとよいと思います。建物のメインの入り口にはソメイヨシノがあり目を引くのですが、建物の裏面になる部分には全く緑がない計画ですので、景観上気になります。立体的な緑地の配慮をしていただければと思います。また、南西部の緑地についても、5階建てのC棟が近接していますが、日照時間が4～5時間以上必要な樹種も計画されているようですが、この部分の日照時間の確認はできていますか。

設計者： 日照は確保できると考えております。

委員： 計画建物の南西角のコウライシバを予定されている部分は、日照があまり期待できず、水捌けが悪くなることが予想されます。ラウンジからの庭園への出入りやこの部分の使い方はどのような計画ですか。

設計者： ラウンジからの出入りは予定していません。昼食時など休憩に利用する程度と考えています。

委員： 一般の方が利用する公園ではないのですが、日照時間を確認したうえで樹種を再度検討して頂いたほうがよいと思います。水捌けがよくないと思いますので、利用形態を考慮したうえで芝生以外を検討された方がよいかもしれません。

委員： 屋上の利用はどのようになっているのか教えてください。

設計者： 研究施設のため必要な設備機器が多いため、ほとんどの部分が空調機械設備、発電機設備などの設置スペースになっています。

委員： 屋上の屋根の形状はどのようになっているのですか。部分的に屋根があるのですか。

設計者： 鳩小屋が数か所あり、その他は設備機器が配置されていますので高さのある目隠し格子で覆っています。

委員： 周囲の山々から見下ろした場合にどの程度見えるかわかりませんが、屋上はどのように見えますか。

設計者： 申し訳ありませんが、景観的にあまりきれいに見えないかもしれません。

委員： 外壁のサインはどんなものを予定されていますか。

設計者： コーポレートマークと企業名を予定しています。ステンレスの箱文字で立体的なものを予定していますが、色は未定です。

会長： 議題1については、これで協議を終了とします。

☆☆☆★ (仮称) エクセレント花屋敷新築工事 ★☆☆☆☆

会長： 今回の事業計画について説明を求めます。

設計者： 事業計画について説明します。

- ・ 閑静な住宅街にあります。現況は敷地の周囲に2段の擁壁があり、セッ

トバックした位置に建物が建っており、緑豊かな状況でしたので、この環境をあまり崩すことなく建築したいと思い計画しています。

- ・ 外観は地域に溶け込むように、ベースには茶色系の色を採用し、アクセントに石張りなど自然素材を利用し、全体としては温かみのある建物を計画しています。
- ・ 植栽については、できる限り既存の樹木を保存した考えはあるものの、道路後退整備や造成工事に伴い敷地内の既存樹木は撤去せざるを得ない状況です。そのため、既存の状況をできるだけ復元するよう緑化計画を行っています。
- ・ 東側道路には桜が植えられていますが、道路後退のため東側植栽は全て撤去することになります。この部分については再度ヤマザクラを植樹する予定です。
- ・ 提供公園については、市の公園緑地課と協議中ですが、ベンチや水飲み場を設置して地域の方にも利用していただけるものを計画しています。
- ・ 建物の高さは3階建てのため、現況よりはボリュームが抑えられます。また近隣への影響を考慮した配置計画を行っています。

会 長： この計画は、周囲の緑の配置や擁壁などの外周部の創り方が重要なポイントになると思います。一番気になるのは、提供公園についてですが、周囲にそれほど子供がいるような地域ではないように見受けられ、寄り付き部分の道路からもかなり高低差がありますので、あまり活用されないことが懸念されます。この部分は観賞用に限定することはできないのでしょうか。公園緑地課との協議のなかでそのような利用形態は難しいのでしょうか。

設計者： 地域の皆さんに開放することが条件になっていますので、観賞用として眺めることだけを目的として整備することは難しいと思います。

委 員： 開放といっても、物理的に行き来できなくても周囲の住宅からも観賞できれば開放されていると捉えることができると思います。計画地からも直接アクセスできず、道路からも高低差があるため、あまり利用されないと不法投棄などが心配です。公園整備の予定部分は現況緑が多くありますので、現状を維持し、保存するのがよいのではないかと思います。管理面がとても心配ですが、市の管理になるのですか。

設計者： 条例の内容を最低限クリアする必要がありますので、現況の状態を保存するのは難しいと考えておりますが、現況の樹木と同等の緑化は行う予定です。

現在協議中ですが、道路との高低差があるため市の管理は難しいといわれており、事業主が管理する予定です。事業主側も不審者や不審火などを心配されており、施設の職員が管理しやすいもの、開放時間を限定し、夜間は進入を禁止することなども踏まえ市と協議中です。

委員： とても管理しにくい位置にありますので、メンテナンスが行き届かなかった場合でも森になる、森に還るような計画が景観的にはよいのではないかと思います。

設計者： 難しい部分もありますが、ご指摘の意図はよくわかりました。参考にさせていただきます。

委員： 公園の施設としてはどのような施設を整備する予定ですか。ベンチと水飲み場のみですか。また、樹種なども公園緑地課と協議されているのですか。もう少し具体的に教えてください。

設計者： 設置するよう市から指示があったのは、ベンチ、水飲み場、公園の看板、照明設備です。

委員： 先ほど夜間は閉鎖するとの回答もありましたが、今の位置的には地域の方へ広く開放するよりは、施設の入居者が憩いの場として利用する方がメインになるかと思います。公園を配置されている部分は現況では北側のスロープで寄り付けるようになっています。今回の計画では施設側からの直接のアクセスは考えられないのですか。直接アクセスできて一体的に利用できる公園が隣接しているということは、この施設の魅力に繋がるといいますのでぜひご検討ください。公園に面してシラカシやタイサンボクが並んでいますが、1階は厨房、2階は屋上です。公園側からの施設の目隠しの機能はあまり意識しなくてもよいと思いますので、ボリュームのある常緑樹よりも落葉の明るい樹木をご検討された方がよいと思います。たとえば、2階の屋上緑化越しに公園が一体的に見えるような工夫を取り入れられるとよいと思います。また、屋上部分は地被類を計画されていますが、部分的に花壇や低木を設けると立体的な緑になりますし、施設利用者も草木を育てることもできてよいと思います。さらに、公園についても、施設の利用者も気軽に利用できるよう考慮された方がよいと思います。

設計者： 検討します。

委員： 建物の配置が南側に寄せた配置となっています。道路側から見ると建物がそびえ立ったように見えるますので、近隣との協議や条例の関係上難しいとは思いますが、もう少し北側に移動させることはできないでしょうか。

設計者： もう少し北側へ配置できれば、道路側からのイメージは大きく変わることは十分認識しています。現況建物が道路境界から余裕をもった配置となっていたこともあり、道路側からの離隔はできるだけとりたいとの考えもありましたが、必要な室数を確保しつつ、北側隣地沿いの既存石積擁壁が非常に高いため、根入れを考慮する必要があります。更に、開発ガイドラインで周囲から6 m以上後退することを考慮した結果、やむを得ずこの配置となりました。

委員： わかりました。道路側への圧迫感は、緑を立体的に配置することでも視覚的に圧迫感を抑えることが可能だと思います。現在この部分には高木のタイサンボク、シラカシ、その間にハナミズキを計画されていますが、この配置ではハナミズキの生育はあまりよくないと思います。低木や中木をランダムに植えられると立体感がでるので、具体的にはキンモクセイ、ヒイラギモクセイがよいと思います。低木に関してはオオムラサキツツジをご計画されていますが日照を必要としますのでこの位置では生育が難しいと思います。ビョウヤナギですと洋風な印象になりますし、また、ツツジであればヒラドツツジであれば日照条件が悪くても生育が見込まれますので、ご検討願います。

委員： エントランス部分に関してですが、新設擁壁はコンクリート打ち放しですか。

設計者： コンクリート打ち放しです。

委員： できれば現況の石積みの雰囲気を受け継ぐようなものが望ましいと思います。ただし、化粧型枠などですと単調なイメージになってしまいますので、石を貼りつけることなども検討いただければと思います。また、テイカズラやスイカズラなどのツル性の常緑の植栽を擁壁に這わせることで立体感も出ますし、印象はだいぶ変わると思いますのでご検討願います。

委員： 既存の石積み擁壁と新設擁壁との取り合い部分が、あまりにも見た目に格差があるためとても違和感があります。コンクリート打ち放し擁壁の仕上げ

については、既存石積みとの格差がなくなるような仕上げについて再検討をお願いします。

設計者： コンクリートブロックはどうですか。

委員： あまりよくないと思います。それよりは擁壁の下段部分はツル性のものを這わす方がよいと思います。オオムラサキツツジ、シロツメクサ、ツワブキではなく、ツル性のニチニチソウ、スイカズラ等を這わす方がよくなると思います。無理のない範囲で検討をお願いします。

設計者： 検討します。

委員： 駐車場沿いの塀は何か意味があって設けられているものですか。

設計者： 転落事故防止の為に設置しています。

委員： 駐車場沿いの塀については、低めの透過性のある転落防止柵に変えていただき、擁壁の下段に中木を列植するのではなく、花木、常緑、落葉の様々な樹種を組み合わせた木立で、車のタイヤやライトが隠れる程度のものを検討していただけないでしょうか。この塀は景観的には必要ないと思います。

設計者： 駐車場が道路から2 m程度高い位置にあるため、転落防止柵は必要と考えています。擁壁の下段は低木をメインに配置していますが、中木で植栽計画を見直したいと思います。

委員： 擁壁の下段は、中木を生垣のように密植すると逆に圧迫感が出てしまうので、密に植える必要はないと思います。トネリコなども刈り込めば高さを抑えることができます。可能であればツル性のものと組み合わせるとよりよくなると思いますので、オオムラサキツツジよりは、ビョウヤナギなどであれば少し下にも垂れるのでよいと思います。常緑の低木を植えられるのであれば、ツバキ類でも花が楽しめると思います。

設計者： 整理します。エントランス付近の擁壁については石貼りなどを検討することがひとつ、また、道路側の小段については中低木の植栽で転落防止柵が隠れる程度とし、フェンスの仕様については安全性を確保できつつ圧迫感を与えないようなものとするということによいですか。

委員：　そうです。車が見えないというのは、タイヤが見えない程度の高さで、駐車車両が霞んでみえるようなイメージになればよいと思います。

委員：　敷地の南西付近には植栽計画がないのですか。南西の通路や建物内部の食堂からもキュービクルや受水槽が直に見えてしまいますので、低木を植えるなどして、もう少し配慮されたほうが良いと思います。また、1階の屋上部分に地被類を計画されていますが、ポットのようなものを何か所か配置し、中木を植えられ方がよくなると思います。公園と屋上のレベルが同じくらいですので、一体的に見えるよう屋上緑化をもっと有効に利用した方がよいと思います。

設計者：　地被類ではなく、入居者も楽しめるような植栽計画を検討します。

委員：　地被類が全て悪い訳ではないのですが、アベリアの低木をリズムカルに植えることなどを検討していただくとよいと思います。また花壇を設けて、季節の花を楽しむのもよいと思います。

更に、西側にあるキュービクルの付近には常緑の生垣をまぜたようなものを検討されるとよいと思います。

設計者：　この部分は避難通路にもなっていますので、キュービクルを隠すのは難しいと思うのですが。

委員：　キュービクルを全て隠す必要はなく、低いコグマザサなどが広がるだけでも印象がよくなります。食堂の利用者、入居者にとってもう少し快適な空間になればよいと思います。入居者への配慮も兼ねた緑化をご検討願います。

設計者：　検討します。

委員：　外観についてですが、マリオンは東面、正面だけ施工するのですか。

設計者：　費用面も考慮し、東面のファサードを中心に施工する予定です。

委員：　建物は正面だけが見えるというものではないので、南面にもマリオンを設けた方がもっとよくなりますので検討をお願いします。

委員： 屋上に多数のアンテナが設置されていますが、景観上あまりよくないのでもう少し配慮することはできませんか。

設計者： 携帯電話のアンテナが現況建物に設置されていました。計画当初より代替地を探していただくようアンテナの所有者にお願いしていたのですが、適当な代替地が見つからなかったため、やむなく設置することになったものです。

委員： 現在の計画では屋上の中央付近に配置されていますが、アンテナの位置をもっと敷地の内側に配置することや道路から離すことはできませんか。

設計者： アンテナの設置者と協議の結果、電波状況を考慮すると現在計画の位置が最大限道路側から離れた位置になるとのことですので、設計者としてもやむを得ないと判断しております。また、施設の特質上遮蔽物を設置すると死角ができますので、目隠しを設置することはできませんでした。

委員： 公園部分が利用されないのではないかとということが一番心配です。地域の方がお庭のような感覚でくつろげるようなイメージの公園にさせていただくとよいと思います。

設計者： 公園に植える樹種についてアドバイスをいただけませんか。

委員： 公園がどのような使われ方になるかによって違ってきますが、基本的にはこの施設の外周部と合わせるようなものが良いと思いますので、サクラ、ハナミズキなどは比較的明るいイメージになると思います。また、冬場でもサザンカ、ツバキは常緑で花を楽しめますのでよいと思います。また、花のつく低木として、ジンチョウゲなどもおすすめです。参考にいただければと思います。

委員： 外壁の吹付タイル部分の色についてですが、現在は 7.5Y R 8.0/3.0 を計画されていますが、7.5Y R 7.5/3.0 とし、もう少し明度を下げ、落ち着いたものにした方がより良くなりますので検討をお願いします。

設計者： わかりました。検討します。

会長： 議題2についてはこれで協議を終了します。